

令和5年 1月 6日 (金)

あさひの日だまり

NO.3 2

辰野町立辰野東小学校 文責 片桐

～今年もお世話になります～

あっという間の3学期です

令和5年がスタートしました。感染症への対応は今後も継続しなくてはなりませんし、世界では戦争によって尊い命が毎日失われています。帰省途中での痛ましい事故のニュースを見聞きすると、本当に心が痛みます。私たちは決して幸福な世界の中で生きているとはいいいがたいのが実際の状況です。

しかしながら、子どもたち、そして私たち大人にとっても、毎日の生活はかけがえのない大切な時間であり、楽しく幸せな日々が続くことを心から願います。大変な思いをされている方々の思いに時として心を寄せながら、自らの生活をできるだけ楽しんでいくことが、この世に生かされている私たちにできる精一杯のことのように思います。

今年も子どもたちにとって、充実感と満足感が感じられる楽しい学校となれますように職員一同心を合わせて精一杯努めてまいります。保護者の皆様、地域の皆様のご理解とご協力のほど何卒よろしくお願いいたします。

年末は、多くのお子さんや職員が体調を崩していましたので、リモートで終業式を行いました。6日には、始業式を行いました。体調を崩していた人たちも休み中に回復して次第に登校できるようになってきましたので、体育館に集合しての式としました。元気な子どもたちの表情に出会うと、思わず自分の表情が緩むことを感じます。みんなで顔を合わせることはいいことだと心の中から思います。

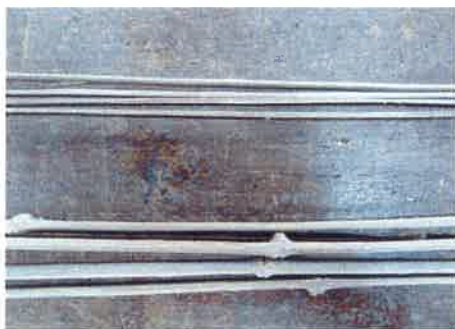
始業式で子どもたちにお話をしました。お話の内容を掲載します。今年の学校の姿勢にも重なることかと思います。目を通していただいてご理解いただけますと幸いです。

みなさん、今日は、新年最初の登校日ですね。

みなさんの中には、昨年1年間の中で、ご家族にご不幸があった人もいることと思いますので、みんなで一緒に「明けましておめでとうございます」と言うのはやめておいて、色々お世話になるけど互いに助け合っていきましょうという気持ちを込めて「今年もよろしくお願いします」とあいさつしましょう。私が「今年もよろしくお願いします」と言うので後に続いて、「よろしくお願いします」と大きな声で挨拶をしてください。いいですかいきますよ「今年もよろしくお願いします」

ありがとうございました。それでは始業式のお話をしますね。

去年の最後の会で「先生は休み中にある物作りに挑戦します。そして、その結果を今日報告します」と言いました。それでは、何に挑戦したかを発表します。この写真を見て下さい。





親指を怪我しながら、竹を細く削ったんだよ、というところまではお話ししました。その続きからいきます。まずは、厚さ5mmの竹を、厚さ2mmまでカンナで薄くしました。幅は1cmを、幅7mmまで細くしました。とにかく軽くないとダメなんです。次の写真を見て下さい。設計図を見ながら紙に何か書いています。さて新年最初の問題です。先生は何を作ることに挑戦しているのでしょうか。わかった人は手をあげて下さい。

さあ正解でしょうか。次の写真です。紙を切って、竹に貼り付けました。そうです。正解ですね。先生はすべてを手作りで凧を作ってみようと思ったんです。途中で竹が折れてしまいました。紙を切って竹を入れ替えて修繕するという苦労もありましたが、見て下さい。何とか凧が仕上がったんです。この凧は、今校長室に置いてあります。

先生は、昔やつぱり手作りで凧を作ったことがあります。その時は、作り方もよくわからぬまま手探りで作ってみました。凧は全く上がりませんでした。骨組みも心もボロボロに折れて、それきり凧との縁は切れていました。今回は何十年ぶりの挑戦です。今は、ネットで作り方を検索できます。いろいろ調べてみました。けっこう難しい凧に挑戦しました。そして出来上がったのがこの凧です。

さあ、この凧は見事空に舞い上がるでしょうか。

残念ながら、年末にこの凧ができ上ってから今日まで、天気がとてもよく風が全く吹きませんでした。だから、凧をあげることができていません。上手く上がってくれたらうれしいです。

でも、先生は今こんなことを感じているんです。もしこの凧が上手く上がらなかったとしても、この凧は先生の宝物です。学校の土手の竹は2mmになっても折れないように頑張ってくれています。お店で買った障子紙は継ぎはぎだらけにされても破れないように頑張ってくれています。新聞紙のしっぽはうまくバランスをとれるように頑張ってくれるに違いありません。凧の材料は、どれも素敵な凧になるために先生と一緒に頑張ってくれているように感じてきたんです。そして、だんだんと先生の大切な仲間になってきたんです。大切な仲間のこの凧は、今年1年間大切に校長室に置いておきたいと思っています。そして、この凧を見るたびに、先生はある言葉を思い出して今年1年間を過ごそうと思っています。



その言葉は「挑戦」です。これは先生の今年の決意でもあります。

みなさんに去年の終業式でお話ししました。この休み何かに挑戦してみましよう、どうでしたか、上手くいってもいなくても、「挑戦」することは楽しかったに違いありません。

そして今日新しい願いがあります。ぜひ、みなさん、今年は何かに勇気を出して挑戦する年にして下さい。そのために、土曜日と日曜日は学校からの宿題をなくして「自分で何を勉強するかを自由に決める自主学習の日」としました。ノートを使った勉強だけでなく、土日を使って外へ飛び出して何かに挑戦することもとてもよい勉強だと思います。みなさんの挑戦に期待しています。

先生のお話は以上です。